

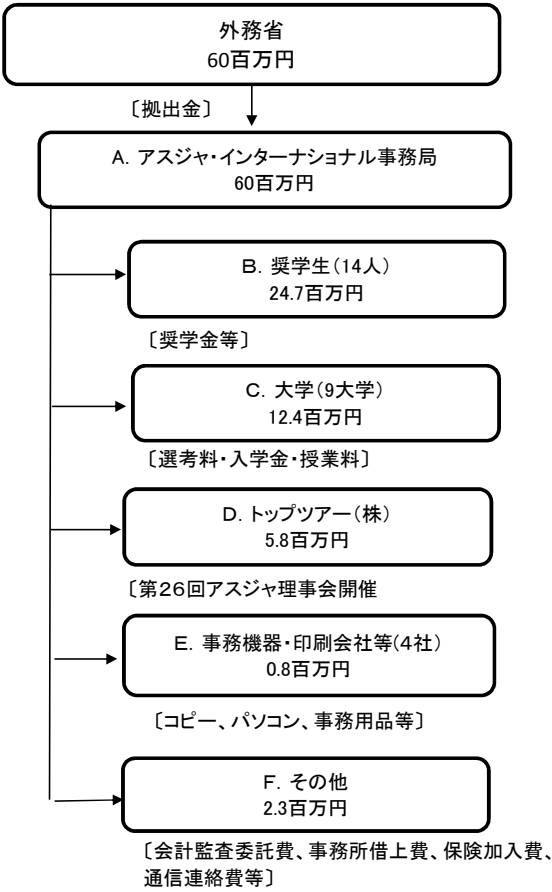
平成25年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	アセアン私費留学生対策等拠出金(任意拠出金)			担当部局庁	外務報道官・広報文化組織			作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度	平成12年度開始			担当課室	人物交流室			室長 中田 昌宏	
会計区分	一般会計			政策・施策名	基本目標:Ⅷ分担金・拠出金 具体的施策:Ⅷ-1 国際機関を通じた政務及び安全保障分野に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項及び第3項			関係する計画、通知等	アスジャ・インターナショナルからの要請				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本拠出金をアスジャ・インターナショナルに拠出し、ASEANの帰国留学生会と連携してASEAN諸国からの留学生に対する奨学金支給等の事業を行い、我が国とASEAN諸国との間の友好協力関係の中核的担い手となる知日家、親日家を養成・支援する。また、ASEAN各国の帰国留学生会が、自ら次世代の留学生を選出することで、日本との繋がりを維持することとし、帰国留学生会を活性化すること等も期待される。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ASCOJA(ASEAN元日本留学生評議会:元日本留学生が組織するASEAN各国の帰国留学生会の連合組織であり、総会員数約4万6000人からなるASEANにおける親日層の基盤。各国において日本文化・日本語等の普及活動を、我が国大使館と連携しつつ実施。)の日本側カウンターパートであるアスジャ・インターナショナルは、本拠出金により、ASCOJAに加盟する8カ国の帰国留学生会から選出された奨学生に対し、奨学金(学費・生活費)を支給するとともに、平成23年度から本奨学生の受入れを停止した代わりに受入れを開始したASCOJAの推薦する国費留学生に対し、対日理解と我が国との友好関係増進を図るため、様々な日本文化体験行事、草の根交流事業等を実施。また、ASCOJA加盟国の帰国留学生会幹部で構成される国際理事会を毎年1回開催し、事業運営方針等を協議。								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算	104	73	60	30	—		
		繰越し等	0	0	0	0			
		計	0	0	0	0			
		104	73	60	30	—			
	執行額		104	73	60				
	執行率(%)		100	100	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	アスジャ奨学生の年度毎の卒業生の内、日本企業・日本関係機関に就職又は母国において日本語教師等に就任した者の人数。達成度は卒業生総数に占める上記人数の割合。			成果実績	人	10	2	3	
				達成度	%	77	40	30	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	各年4月時点で在籍する奨学生人数			活動実績 (当初見込み)		32 (32)	19 (19)	14 (14)	— (4)
単位当たりコスト	3,176,105(円/1人)			算出根拠	平成24年度の拠出金額を同年度の在籍奨学生で除した金額				
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	奨学金		10	—					
	事務局運営費		15	—					
	留学生会支援経費		6	—					
計		30	—						

事業所管部局による点検					
	項 目		評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		△	・平成21年度行政刷新会議の事業仕分けで国費留学生事業との重複が指摘されたため、平成23年度以降は本拠出金による奨学生受け入れを中止。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・支出については、目的に応じた調達方法で業者を選定し、コスト削減に努めている。また、国際理事会が承認した年度計画・予算に沿って真に必要なものに限定して実施している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		－		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	・平成21年度行政刷新会議の事業仕分けで国費留学生事業との重複が指摘されたため、平成23年度以降は本拠出金による奨学生受け入れは中止し、国費留学生大使館推薦枠の中に各国1名のASCOJA推薦枠を設定。 ・母国に帰国した元留学生及びその同窓会組織を我が国の外交資産と捉え、我が国の外交政策等の推進に資するよう関係の維持・強化に努めている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		－		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	・平成21年度行政刷新会議の事業仕分けで国費留学生事業との重複が指摘されたため、平成23年度以降は本拠出金による奨学生受け入れは中止し、当時既に受け入れていた奨学生全員が卒業する平成25年度をもって本奨学金を廃止することとなっている。平成23年度以降は、アスジャ奨学生を国費外国人留学生制度に統合(国費外国人留学生大使館推薦枠の中に各国1名のASCOJA推薦枠を設定)した。	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	425	国費留学生事業	文部科学省高等教育局		
点検結果	平成21年度行政刷新会議において、本件拠出金による奨学金事業は、同様の奨学金事業と統合して廃止すべきと評価が示され、見直しが求められたことから、平成23年度以降の新規奨学生受け入れを中止し、既に受け入れ済みの奨学生全員が卒業する平成25年度をもって本奨学金を廃止することとした。				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
抜本的な改善の	廃止				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
廃止	任意拠出金のうち優先事項を踏まえて減。				
備考					
事業仕分け第1弾 事業番号2－50 評価結果：見直しを行う とりまとめコメント： 第2WGとしては、更なる見直しを求めたい。重複の排除及び民間実施等の観点から、見直しを行っていただきたい。また、可能なものは国に返還することも行っていただきたい。なお、見直しの観点にあてはまらない拠出金については、見直しを行わないことにも留意して、新政権の下で具体的に精査を行う必要がある。 また、外交の目的は国益たることを前提として、効果や検証の仕組みをきちんと作るべきであり、体験談や印象による正当化では国費を投入する根拠にはならないという点も考慮して、検証・改善していただきたい。 最後に、いつまでこの拠出金を出し続けるかについても、戦略が見えていないことから、新政権の下でしっかりと議論を求めたい。					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年	0112	平成23年	0114	平成24年 143

個別事業名： アセアン私費留学生対策等拠出金

※平成24年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り
先が何を行っている
かについて補足
する) (単位: 百
万円)



個別事業名： アセアン私費留学生対策等拠出金

費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックごと に最大の金額が支 出されている者につ いて記載する。 費目と使途の双方 で実情が分かるよ うに記載）	A.アスジャ・インターナショナル事務局			E..事務機器、印刷会社、事務用品		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	学費	奨学生の奨学金等	24.7	印刷費	富士ゼロックス	0.4
	学費	大学入学金、授業料	12.4			
	人件費	職員給与	11.6			
	旅費	航空賃、国内交通費	3.4			
	保険料	健康保険、厚生年金、労働保険等	1.6			
	借料	教育・研修施設、事務機器等	0.9			
	監査費	会計監査費用	0.6			
	雑費	振込手数料、PCサポート費等	0.4			
	印刷費	活動報告等	0.4			
	通信費	電話使用料等	0.3			
	保険料	奨学生の海外旅行傷害保険	0.2			
	その他	積立金、次期繰越金等	3.5			
	計		60.0	計		0.8
	B.奨学生			F.その他		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	生活費	奨学生に対する奨学金	24.7	監査費	朝岡公認会計士事務所	0.6
	計		24.7	計		0.6
	C.早稲田大学大学院(4名)			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	学費	奨学生授業料	4.3			
	計		4.3	計		0
	D.トップツアー(株)			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	旅費	第26回アスジャ理事会(海外理事航空賃)	2.8			
	会議費	第26回アスジャ理事会開催費	2.9			
	計		5.7	計		0

個別事業名： アセアン私費留学生対策等拠出金
支出先上位10者リスト

A. アスジャ・インターナショナル事務局

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	アスジャ・インターナショナル事務	アスジャ奨学生の受け入れ、研修等の実施	60		

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	奨学生A(シンガポール)	奨学金(年間)	1.8		
2	奨学生B(インドネシア)	奨学金(年間)	1.8		
3	奨学生C(マレーシア)	奨学金(年間)	1.8		
4	奨学生D(フィリピン)	奨学金(年間)	1.8		
5	奨学生E(タイ)	奨学金(年間)	1.8		
6	奨学生F(ミャンマー)	奨学金(年間)	1.8		
7	奨学生G(カンボジア)	奨学金(年間)	1.8		
8	奨学生H(カンボジア)	奨学金(年間)	1.8		
9	奨学生I(カンボジア)	奨学金(年間)	1.8		
10	奨学生J(ベトナム)	奨学金(年間)	1.8		

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	早稲田大学大学院(4名)	授業料	4.3		
2	立命館アジア太平洋大学大学院(1名)	授業料	1.4		
3	明治大学大学院(1名)	授業料	1.3		
4	東京大学大学院(2名)	授業料	1.1		
5	慶応義塾大学大学院(1名)	授業料	1.1		
6	1 大東文化大学大学院(2名)	授業料	1.0		
	8 桜美林大学大学院(1名)	授業料	1.0		
7	中央大学大学院(1名)	授業料	0.7		
9	一橋大学大学院(1名)	授業料	0.5		

D. トップツアー(株)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	トップツアー(株)	ASEAN諸国理事の訪日渡航関連業務	5.8		

E.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士ゼロックス(株)	印刷費(活動報告書等)	0.4		
2	日立キャピタル(株)	事務機器(コピー機リース)	0.3		
3	アスクル(株)	事務消耗品費	0.1		
4	芙蓉総合リース(株)	事務機器(パソコンリース)	0.01		

F.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	朝岡公認会計士事務所	監査費	0.6		
2	東京日本語教育センター	借料(事務所賃貸)	0.5		
3	銀行	雑費(振込・両替手数料)	0.4		
4	(株)国際サービスエージェンシー	保険料(奨学生海外旅行保険加入費)	0.2		
5	NTT東日本	通信費(電話代)	0.2		
6	郵便局	通信費(資料送付)	0.2		
7	PCAサポート	雑費(会計ソフトサポート費)	0.2		
8	弥生サポート	雑費(給与計算ソフトサポート費)	0.04		
9	NTTコミュニケーションズ	雑費(電話代)	0.04		
10	KDDI	通信費(電話代)	0.04		